

令和三年度 東京純心大学

一般選抜試験（第一回）【国語】試験問題

試験時間 60分 問題は1～8ページ

注意事項

- ・ 解答は、解答用紙及びマークシートに記入すること。
- ・ 問題用紙も、試験終了後回収する。

受験番号

令和3年2月2日

□ 次の文を読み、以下の設問に答えなさい。

あめをんな

(1)女優として最大の不幸は「雨女」であったこと……だと思おう。

とにかく、女優を始めてこのかた、ロケーションというところ、雨ばかりなのだ。

生まれて初めての撮影からして(ア)あらしだった。

美しい夕日を求めて北海道にコマースヤルを撮りに出掛け、二週間とうとう一日も晴れずに帰って来たこともある。

その二週間のうちたった一日だけ、所用のため私ひとり東京に帰った。その日はまた(イ)格別キレイに晴れ上がったのだそう。以来、スタッフの私を見る目つきが、グツと冷ややかになったのは言うまでもない。

ロケーションで最も嫌われるのは、トイレの近い女優と、なんといっても「雨女」なのなもの。

(2)ロケに行くたびに雨に降られているうちに、私の人生観も変わった。

いたって(3)ペシミステイクになった。いたって用心深くなった。

東京の空がいかにご機嫌(ウ)麗しく晴れていようと、予報がどんなに明るいことを言おうと、私は決して騙だまされることなく、傘を抱きかかえ、長靴を履いて旅に出る。

しかし、そんなある日ある時のこと。くだんのいでたちで、とある空港に降り立った私を、もの凄い勢いで怒鳴り飛ばした人がいた。

出迎えに来ていた演出家である。

「なんですか、あアた、その(エ)恰好は!？」

私の長靴をさした指は細かく震え、顔は怒りで赤くなっている。

「東京は雨だったんですか!？」

「イエ……あの……」

演出家の怒りは炸裂した。

「大体アア、ロケに長靴で来る女優がありますか！（オ）えんぎでもないッ!! 不届き千万!!」  
と言ってる間に、みるみる雲行きが怪しくなり始めたのだからたまらない。

以後の雨は（雨ばかりだった）全部私のせいにされた。出番のないときまで、私に監視の目を光らせるのである。

「アア、用のないときは寝てください。アアが起きると雨が降る」

以来、私は長靴を履かない。

ロケに傘など持って行かない。

それでも、やっぱり雨は降る。

湯田町は今日も雨だった。

『風の又三郎―ガラスのマント』の撮影のために建てられた（カ）分教場のオープンセットも、（キ）療養所も、みな雨に濡れそぼっている。深いぬかるみがいたるところにできていて、ちよつと（ク）ゆだんすると、すぐ足をとられてしまう。

ロケーションは、待機につぐ待機で、予定期間を大幅に過ぎている。

自然に囲まれての一カ月。岩手でのロケーションは、出演する都会の子供たちにとって理想的、かつ教育的な夏休みになるはずだった。

しかし、夏休みが終わってさらに一カ月、撮影はまだ終わっていない。

（4）この雨を私のせいにしてもらっても困る。八月九月は、ほぼ全国的に異常（ケ）きしよ<sup>う</sup>だったのだから。いくら私が「雨女」でも、（こう）（ユ）こうはんに面倒を見られるものではない。

長雨はいろいろなところにさまざまな影響をもたらした。

長ネギの値段が倍になった。果物が水っぱい。クーラーが売れない。海の家（5）閑古鳥が鳴いた。

湯田町では長靴やカップが飛ぶように売れた。子供たちの宿舎となった三花館の障子は穴ボコだらけになってしまった。

子供たちは待っている。ファミコンや学校やお母さんに焦がれながら、撮影が終わる日をひたすら待っている。スタッフも待っている。蚊や退屈や子供たちの奇声、騒音に悩まされながら、晴れる日をジッと待っている。

待っているうちに早くも山が紅葉してきた。

しかし、きっと「雨ニモ負ケズ風ニモ負ケズ、夏ノ紅葉ニモ負ケズ」、撮影は進行するのだと、思う。

出典 檀ふみ 著 『まだふみもみず』 幻冬舎文庫 二〇〇三年

一、 傍線(ア) く(コ)の漢字をひらがなに、(送りがないを除く) ひらがなを漢字に書き換えなさい。

(ア) あらし

(イ) 格別

(ウ) 麗しく

(エ) 恰好

(オ) えんぎ

(カ) 分教場

(キ) 療養所

(ク) ゆだん

(ケ) きしょう

(コ) こうはん

二、 傍線(2)「ロケに行くたびに雨に降られているうちに、私の人生観も変わった」とは、どのように変わったというのですか。本文中の適当な語句を用いて二〇字程度で説明しなさい。

三、 傍線(1)「女優としての最大の不幸は、(私が)雨女であった」であるという冒頭の文章を参考に、傍線(4)「この雨を私のせいにしてもらっても困る」という文章に筆者のどんな気持ちが表示されていますか。説明しなさい。

四、 傍線(3) 「ペシミスティック」とはどのような意味か。ふさわしくないものを①～⑤の選択肢より選び、番号をマークしなさい。解答番号

は 1。

① 人生に悲観的なさま。

② ネガティブな思考に陥ってしまう傾向。

③ 厭世的。

④ 明るく考える。

⑤ 人生をはかなむ。

五、 傍線(5) 「閑古鳥が鳴いた」とはどのような意味か。最もふさわしいものを①～⑤の選択肢より選び、番号をマークしなさい。解答番号は

2。

① 人が集まらずものさびしい様子。

② 景気よく人が集まる様子。

③ 大きな声が響く様子。

④ 海鳥が渡っていく様子。

⑤ 人が海でおぼれた様子。

〔二〕 次の文を読み、以下の設問に答えなさい。

### 省力化の帳尻

「日本の家屋は、木と紙とワラを主な素材としている。居室には、タタミというワラ製のゴザでくるんだマットレスを敷き詰めており、フスマ、シヨウジという名の扉はスライドタイプで、いずれも枠は木製だが、主に紙でできている」

このくだりで教室中が(一)どよめいた。三十年以上も昔、チェコスロバキアはプラハのソビエト大使館付属小中学校でのこと。フランス語の授業の最中だった。たしか、日本を取材したフランス人ジャーナリストのレポートが教材の副読本として使われたのである。授業が終わるや、わたしは(ア)好奇心の虜<sup>とら</sup>となったクラスメイトに取り囲まれて質問責めにあったものだ。

さて、このレポートの中に、皆は、さして気にとめなかったみたいだが、わたし自身にとっては、とても印象的な記述があった。

「日本の都市には、隣近所の人々にモノを売って(イ)せいけいを立てている人間がむやみやたらと多い」  
はるか遠い日本の、自宅近くの商店街を思い出して一人笑いしてしまった。

クリーニング屋の太郎君も、歯科医院の雅子ちゃんも、パーマ屋のまどかちゃんも、蕎麦屋の竹内君も、同級生だった。魚屋のお兄ちゃんは、おつかいに行ったわたしをからかうのが好きで、いつも口げんかになった。豆腐屋のおかみさんは働き者だけれど、気が強くて(ウ)旦那を(二)尻に敷きっぱなしだし、八百屋のお姑さんは「鬼婆」だから、お嫁さんに次々と逃げられて、今の人は五人目というウワサだった。

たしかに、そんなささやかな小売店がカバーする顧客は、おそろしく狭い隣近所に限られていた。濃密すぎる人間関係の(三)わずらわしさもひとしおだった。西欧人の目には、ずいぶんと非生産的で不合理に映ったのかもしれない。いつ来るか分からぬ客を待つ(エ)みせばんの人件費も商品の価格に上乗せされるのだろう、店主の長年の経験と(オ)勘に頼った仕入れで無駄も多かるう、というわけだ。

そして今、日本各地どこにでもあったこの(カ)馴染みの(キ)ふうけいが、消滅しつつある。全国規模、いや世界規模で展開するコンビニやスーパーマーケットの支店が、私の生まれ育った街にも続々と進出している。商品は一元的に管理され、品質は画一化され、店員の対応はスマートで、

マニュアル通りの笑顔は無機質。店頭での(ケ)がかく交渉なんて論外。商店街を席卷する自動販売機とさして変わらない。

最近では、コンビニが近くにあるというだけで、アパートの入居率も高まるらしい。人臭さを極力排したコンビニと自動販売機は、便利で快適な消費生活の代名詞のようだ。

企業としても人件費が切り詰められて嬉しいことだろう。これを(4)省力化という。この「力」は、人間の労働力をさす。

その代わり、電力の「力」の方は、反比例して伸びているようだ。現在、日本全国に配備された自動販売機の数、およそ五百四十四万台。その年間消費電力量は、八十七億キロワット、これは原子力発電所一基の年間発電量に相当する。

長距離かつ長時間にわたって商品の品質を維持するためにコンビニやスーパーの配送網や店頭に配備された冷蔵庫、冷凍庫の消費電力をこれに加えると、どんな数字がはじき出されるのだろう。それに気になるのは、おびただしい数のアルミ缶。アルミニウム製造プロセスは、桁違いに大量の電力を費やすからだ。

缶は即ゴミと化す。コンビニと自動販売機は、ゴミの量を加速度的に増大させた。ラップ類や発泡スチロール製の小皿やビニール袋などの石油製品は、一瞬にして累々たるゴミの山となる。地球(ケ)しげんを恐ろしい勢いで喰いつぶしているということだ。

最近では、そのゴミの焼却過程で発生するダイオキシンが発ガン性や催奇性を有するのみならず、人間の繁殖能力を奪うホルモン攪乱物質であることも明らかになってきた。(コ)防腐剤や保存料の害については言うまでもない。

失われた風景の中に、かけがえのないものが、もう一つある。それは、街中を行き来する子供たちを見守るいくつもの目。「隣近所の人々にモノを売る」人々の、「むやみやたらと多い」目である。

(「婦人公論」一九九八年七月七日号)

出典 米原万里 著 『真夜中の太陽』 中公文庫 二〇〇四年

一、 傍線(ア)く(コ)の漢字をひらがなに、(送りがなを除く)ひらがなを漢字に書き換えなさい。

(ア) 好奇心

(イ) せいけい

(ウ) 旦那

(エ) みせばん

(オ) 勘

(カ) 馴染み

(キ) ふうけい

(ク) かかく

(ケ) しげん

(コ) 防腐剤

二、 傍線(1)「どよめいた」とはどのような意味か。最もふさわしいものを①～⑤の選択肢より選び、番号をマークしなさい。解答番号は

① しーんとなる様子。

② 立ち上がる様子。

③ 帰って行く様子。

④ ざわざわと騒ぐ様子。

⑤ 先生に質問する様子。

三、 傍線(2)「尻に敷(く)」とはどのような意味か。最もふさわしいものを①～⑤の選択肢より選び、番号をマークしなさい。解答番号は

① 妻が自分の意に夫を従わせて、思うままに振る舞う。

② 重石として置いておく。

③ 後ろから進む。

④ 着物の裾をからげる。

⑤ 上から引っ張る。



四、 傍線(3)「わずらわしさ」とはどのような意味か。最もふさわしいものを①～⑤の選択肢より選び、番号をマークしなさい。解答番号は 5。

① たのしみな様子。

② 面倒だ、気が重い、といった様子。

③ 新しいきっかけとなる様子。

④ あっさりとした様子。

⑤ わずかしくない様子。

五、 傍線(4)「省力化」によって、増えたものと減ったものとして著者があげているものは具体的に何か。本文中にあげられている単語をできるだけ多く答えなさい。

増えたもの

減ったもの

(余白)

(余白)